

Smile Pick Up! 市民の笑顔お届けします

今年の6月、大正時代の鹿谷地区の記録をまとめた資料「鹿谷村誌」を発刊された三枝さん。

高校を卒業して以降、勝山市を離れていた三枝さんは、数年前に勝山市に帰郷し、勝山で暮らす中で、郷土の歴史に興味を持つようになりました。

そして、勝山市史をはじめ、いくつかの村史などを読み進める中、鹿谷地区の資料がないことを知り、鹿谷地区の歴史を調査することにしました。

そんな中、昨年の秋、鹿谷地区の有志の方から大正11年当時に鹿谷尋常高等小学校の先生たちが編集しようとして取り



三枝 政勝さん (73)
=鹿谷町発坂=

《ふるさとへの歴史を次の世代へ》

組んだ未完成の「鹿谷村史」の下書きのコピーを譲り受けました。

「昔の鹿谷地区の地勢や政治、産業・経済などがコンパクトにまとめられた歴史的な資料を現在鹿谷地区に住む若い人たちに残したい。生まれ育った故郷に興味・誇りを持ってもらえたら」との思いで、「コピーを編集し、半年ほどかけて一冊の本にされました。」

「100年前の様子に分かる貴重な資料です。ぜひ一度ご覧ください」と笑顔で話されていました。

「鹿谷村史」は、市内のまちづくり会館や図書館、市内各学校(小・中・高)などで読むことができます。



写真や地図などが掲載され、当時の様子がよく分かる

認知症をにんちしよう

■9月9日 すこやか



認知症に関する講話や情報交換を行う認知症cafeなど認知症への不安を取り除くためのイベントが開催され、認知症への理解を深めました。

ジオツアー × ウォーキング

■9月30日 勝山駅・まちなかコース



市内各所にあるジオサイトを歩いて巡る“わくわく週末ジオウォーキング”が開催され、ガイドの解説に耳を傾けながら秋のまちなかを歩きました。

新しい恐竜の名所が完成

■郡町3丁目 有限会社丸山工務店



恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク啓発助成事業を活用して、丸山工務店の店舗壁面に新しい恐竜看板が設置されました。

ジオパークフォーラム「石が語るかつやま」

■9月2日 まほろば



勝山の先人たちが使った「石」をテーマに、考古学と地球科学の視点から石の特徴や地域性を紹介するフォーラムが開催されました。

市内駅伝 村岡町が3連覇

■9月24日 勝山市内一円



秋晴れの中、勝山市内駅伝競走大会が開催され、全長36kmのコースを力走する9地区の選手たちに沿道から多くの声援が送られました。

祝 小舟渡橋100周年

■10月1日 小舟渡橋



北郷町と上志比地区を結ぶ小舟渡橋が完成して100周年を迎えたことを記念し、地元の皆さんが協力してイベントを開催しました。

JCHO-column

拝啓 勝山市民の皆様へ

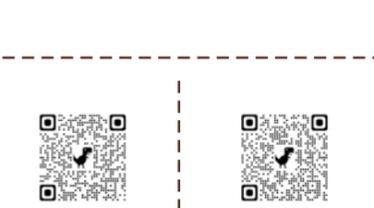
福井勝山総合病院
産婦人科部長
倉田 和巳



秋たけなわ、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私は「ヒトパピローマウイルス」と申しまして、これを機会に、勝山市民の皆さまにひとこと挨拶させていただきます。

私の仲間で、たちの悪いものは人間の女性に子宮頸がんを起します。われわれはセックスで人から人へ感染しますので、若い人々が主なターゲットになります。なので若い人がよくがんになります。がんになると、日本では年間約2800人が命を落としますが、そこまでいなくても子宮の全部や一部を摘出する手術を受けたりしています。結果として、子どもが産めないとか、流産しやすいといった人が出てきています。

ただ最近、気になる動きがあります。人類がわれら(ヒトパピローマウイルス)に対するワクチンを開発し、接種しだしたのです。



HPVワクチンに関するQ&A

HPVワクチンに関する全般的な情報はこちら

益相反状態はありません

日本では小学校6年生から高校1年生の女子への定期接種のほか、キャッチアップと称して、平成9年度から平成17年度に生まれた女性にも自己負担なしでワクチンを接種しており、われらの大きな脅威となっています(自己負担なしでキャッチアップできるのはあと1年ちょっと)。

みなさん一人ひとりがヒトパピローマウイルスのワクチンを打たないことが、ウイルスの維持・繁殖につながるのです。

※特に打つことができないご事情がある方を除いて、ヒトパピローマウイルスのワクチン(子宮頸がんワクチン)をおすすめします。

なお、私(福井勝山総合病院倉田和巳)にはワクチンの会社との利益相反状態はありません